

# 専門実践教育訓練明示書

講座の名称	歯科衛生学科																
実施方法	① 通学 ( <input checked="" type="checkbox"/> 昼間 ・ 夜間 ・ 土日 ) ② 通信 スクーリング(回数 回)																
指定講座番号	0	3	1	0	0	1	5	—	1	9	1	0	0	1	1	—	0
講座の創設年月日	2016年4月1日					専門実践教育訓練給付金 対象講座の指定期間 令和10年3月31日まで			過去一 年の講 座実績				入講者数(27人) 令和6年度		修了者数 ( 38人) 令和5年度		
訓練期間	36ヶ月							総訓練時間				2892時間					

## 1. 教育訓練目標

①取得目標とする資格の名称、目標レベル	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 業務独占資格・名称独占資格 ( 歯科衛生士 )</li> <li><input type="checkbox"/> 職業実践専門課程 ( )</li> <li><input type="checkbox"/> キャリア形成促進プログラム ( )</li> <li><input type="checkbox"/> 専門職大学院 ( )</li> <li><input type="checkbox"/> 職業実践力育成プログラム ( )</li> <li><input type="checkbox"/> 情報通信技術関係資格 ( )</li> <li><input type="checkbox"/> 第四次産業革命スキル習得講座 ( )</li> <li><input type="checkbox"/> 専門職大学、専門職短期大学、専門職学科 ( )</li> </ul> 教育訓練を通じて取得を目指す上記以外の資格等
②①に係る資格・試験等の実施機関名称	厚生労働省
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等	本校(文部科学大臣の指定した歯科衛生士学校)を卒業した者、かつ歯科衛生士法第11条の規定により施行される国家試験に合格した者
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況	歯科衛生士、歯科衛生士養成学校の教員、歯科材料・歯科機器メーカーの研究員等。 歯科医院、病院(外来・病棟)、行政、老人福祉施設、在宅介護サービス、歯科医療関連メーカー等で口腔ケア・介護予防の専門家として活用される。

## 2. 教育訓練の内容

教科 (カリキュラム)	時間	使用教材名
基礎分野(情報基礎管理学、心理学、倫理学など)	152	
専門基礎分野(解剖学、組織・発生学、生理学など)	376	
専門分野(歯科衛生士概論、健康社会学、歯科臨床概論、臨床実習、臨地実習など)	2246	
選択必修分野(研究、接遇、コミュニケーション論など)	118	
詳細は本校ホームページ(情報公開)参照 <a href="https://www.iwate-iryo-dh.com/blank-7">https://www.iwate-iryo-dh.com/blank-7</a>		

## 3. 受講者となるための要件(この講座を受講するために必要とされている条件など)

①受講するに当たって必要な実務経験等	なし
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準	高等学校卒業程度
③その他	

### 〔特記事項〕

# 専門実践教育訓練明示書

## 4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

### (1) 資格取得状況

① 前年度の修了者数	38	人			
② ①に係る教育訓練の入講者数	41	人			
③ ②のうち目標資格の受験者数	38	人	受験率(③/②)	92.7%	%
④ ③のうち合格者数	37	人	合格率(④/③)	97.4%	%
⑤ ①(修了者数)のうち就職者数 ※1	37	人			
⑥ ①(修了者数)のうち在職者数 ※2	0	人	就職・在職率(⑤+⑥/②)	92.7	%

※1 前年度の修了者のうち、受講開始時に職に就いていなかった者で修了後に就職した者。

この場合、就職したとは、臨時的な仕事に就職した者は含めない。

※2 受講開始時に既に職に就いていた者で、卒業後も引き続きその職にある者及び受講開始時に既に職に就いている者で、修了後に別の職に転職した者。

### (2) 受講修了者による講座の評価等

① 回答者総数	25	人			
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	人	②A: 就業者計		
	2 非正社員、派遣社員	人			
	3 その他の就業(自営業等)	人	②B: 非就業者計		
	4 非就業	25			
③ 就業中の受講者による講座の評価	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)		
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	人			
	3 社内外の評価が高まる	人			
	4 円滑な転職に役立つ	人			
	5 趣味・教養に役立つ	人			
	6 その他の効果	人			
	7 特に効果はない	人			
④ 就業していない受講者による講座の評価	1 早期に就職できる	8	人	④の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	
	2 希望の職種・業界で就職できる	9	人		
	3 より良い条件(賃金等)で就職できる	5	人		
	4 趣味・教養に役立つ	1	人		
	5 その他の効果	2	人		
	6 特に効果はない	人	25		
⑤ 受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	25	人	⑤の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	人			
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	人			
	4 就職していない	人	25		
⑥ 講座の全体評価	1 大変満足	14	人	⑥の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	
	2 おおむね満足	9	人		
	3 どちらとも言えない	2	人		
	4 やや不満	人			
	5 大いに不満	人	25		

(3) 受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価等)

## 5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法	カリキュラムの進行に応じた小テストのほか、レポート、製作物の提出、臨床実習記録などにより、理解度・到達度を測っている。学期末に定期試験を行う。各授業科目の所定履修時間の2/3以上出席、試験は各教科それぞれ60点以上を得た者を合格とする。その学年に定められた試験に合格しなければ進級できない。(本校学則第11条-13条、歯科衛生学科試験規程)
-------------------------------------	--

(通信制講座の場合)

スクーリングの実施場所、時期、期間・回数

# 専 門 実 践 教 育 訓 練 明 示 書

<b>6. 受講効果の把握方法</b>			
(1) 受講認定基準 (6ヶ月ごとの出席率・定期試験、進級試験等の具体的基準)	学期末に定期試験を行う。各授業科目の所定履修時間の2/3以上出席、試験は各教科それぞれ60点以上を得た者を合格とする。その学年に定められた試験に合格しなければ進級できない。(本校学則第11条-13条、歯科衛生学科試験規程)		
(2) 受講認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	カリキュラムの進行に応じた小テストのほか、レポート、製作物の提出、臨床実習記録などにより、理解度・到達度を測っている。必要に応じて個別指導や補習を実施している。		
(3) 修了認定基準 (出席率・修了認定試験等の具体的な基準)	所定の教育課程(講義、演習、実験及び実習)を修了した者は、教員会議の議を経て学校長が卒業を認定する。(本校学則第10条,14条、歯科衛生学科試験規程)		
(4) 修了認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	カリキュラムの進行に応じた小テストのほか、レポート、製作物の提出、臨床実習記録などにより、理解度・到達度を測っている。必要に応じて個別指導や補習を実施している。		
<b>7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法</b>			
(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	希望に応じて、個別指導・補習を行っている。臨床・臨地実習の際には、教員と受入先の施設指導者が密に連絡を取り合うことで、適切な助言を行っている。		
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例: 資格取得関連情報や資格関連職種の人事情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	1年次から歯科衛生士国家試験の全国模試を受けさせ、合格への意識を高めている。2年次と3年次に就職希望調査を実施している。岩手県歯科医師会ならびに歯学部同窓会との連携により、就職支援を行っている。		
<b>8. その他の事項</b>			
指定教育訓練実施者名 及び代表者名	学校法人岩手医科大学 (代表者名: 理事長 祖父江 憲治)		
住所及び連絡先	〒028-3694 岩手県紫波郡矢巾町医大通一丁目1番1号 TEL 019-651-5111(代)		
施設名称及び施設長名	岩手医科大学医療専門学校 (施設長: 学校長 小林 琢也)		
住所及び連絡先	〒020-0887 岩手県盛岡市上ノ橋町1番12号 TEL 019-651-5118		
苦情受付者	氏名 藤原 淳一 所属 岩手医科大学医療専門学校事務室	事務担当者	氏名 和田 充弘 所属 岩手医科大学医療専門学校事務室
連絡先	TEL 019-651-5118	連絡先	TEL 019-651-5118
専門実践教育訓練経費	1. 専門実践教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②)		2,500,000 円
支払い方法	① 入学料(税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)		250,000 円
① 一括払	② 受講料(税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)		2,250,000 円
② 分割払			第1期 375,000 円
③ 両方可能			第2期 375,000 円
		第3期 375,000 円	第4期 375,000 円
		第5期 375,000 円	第6期 375,000 円
		(うち、必須教材費 円)	
	2. 専門実践教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④)		450,787円
	① 任意の教材費(税込額)		210,304 円
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額)		0 円
	③ 施設維持費(税込額)		0 円
	④ その他(法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額)		240,483 円
	3. 総額 (1+2) (税込額)		2,950,787 円